

# 長崎市個別施設計画 (平和施設)

令和3年10月

令和8年2月改訂

## 目 次

1	平和施設の将来の方向性.....	
2	対象施設.....	
3	個別施設の現況及び将来の見込み.....	
(1)	個別施設の方向性.....	
(2)	個別施設の状態及び対策費用.....	

## 1 平和施設の将来の方向性

平和施設の将来の方向性は、「長崎市公共施設の適正配置基準」に記載のとおりです。

## 2 対象施設

本計画では、市所有の公共建築物のうち、次の「平和施設」を対象としています。

2024年4月1日現在

No.	名称	所在地	建築年	階数	耐震化	床面積(㎡)
1	長崎原爆資料館	平野町 7-8	1996	地上 2 地下 2	新耐震	7,949.73
2	永井隆記念館	上野町 22-6	2000	2	新耐震	305.40
3	如己堂	上野町 22-6	1948	1	旧耐震 (診断×)	8.42
4	長崎原爆遺跡旧城山国民学校校舎	城山町 95	1937	3	旧耐震 (未診断)	510.11
5	原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂	岡町 8-5	1994	1	新耐震	286.08
6	平和会館(平和会館ホール)	平野町 7-8	1981	地上 5 地下 1	旧耐震 (改修済)	2,577.09

## 3 個別施設の現況及び将来の見込み

### (1) 個別施設の方向性

個別施設の方向性は、地区別計画に記載のとおりです。

### (2) 個別施設の状態及び対策費用

「長崎市公共施設保全計画」(以下、「保全計画」という。)に定める保全主要部位に係る最終改修履歴及び対策費用は次のとおりです。

また、計画期間内(2020年度から2029年度)の平和施設に要する対策費用(※舞台設備は除く)については、約883百万円を見込んでいます。

なお、舞台設備については、保全計画に基づき更新周期を設定しますが、安全性確保のために必要な点検を施設ごとに行いながら、適切に維持管理していくこととします。

#### 【舞台設備更新周期】

保全対象			更新周期
舞台設備	機構設備 (吊物機構)	操作卓、制御盤、駆動部	20年
		ワイヤーロープ、滑車など	15年
	照明設備	調光卓操作卓、制御盤、照明器具	20年
		給電ケーブル類	15年
	音響設備	音響操作卓	15年
		スピーカー、周辺機器	10年

## <対策費用の見方>

【●●センター】 建築年：1988													基準年：20××
													(単位：千円)
保全部位	更新周期 (年)	最終改修 年度	最終改修から の経過年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替	65	—	35										
屋根	20	2005	18						○				
外壁	20	2005	18						○				
受変電	30	1997	26								○		
非常電源	30	—	35					△					
自動火災 報知装置	20	1995	28					△					
中央監視 制御装置	15	2021	2		40,000								
昇降機	25	2020	3	35,000									
排煙ファン	25	2010	13										
空調	15	2016											
給排水	15、30	—											
消火	20、30	2013											

・保全部位欄には、当該施設が有する「保全計画」に定める保全主要部位のみを記載していますが、複合施設の場合は、当該施設において改修時の費用負担がある部位のみを記載しています。

・最終改修年度欄の「—」は、建築年を指します。

・最終改修からの経過年数が更新周期を超えている場合は、セルを緑色に塗りつぶした上で、太字で経過年数を記載しています。

・改修済・改修予定の事業の金額を記載します。

・改修を予定している部位については、予定年度に「○」を記載していますが、建物の物理的耐用年数(65年)を考慮の上、大規模改修は行わず安全性を確保できる必要最低限の維持管理を行う場合もあります。

・最終改修からの経過年数が更新周期を超えているものの、現時点において改修予定がない場合は、暫定的に基準年度の翌年に改修するものと仮定し、「△」を表示した上で、対策費用を試算しています。

※「○」を記載している改修予定事業については、改修年度・改修金額が確定した後、具体的な金額を明記します。

※保全主要部位のうち、『状態監視型予防保全』の部位(空調設備、給排水設備、消火設備)については、保全計画に定める更新周期に基づき対策費用を試算しますが、同保全方式は設備の状態により保全を実施するため、更新周期によって位置付けた改修時期と実際の改修時期に差が生じることから、保全に係る今後の予定を示す対策費用には記載しないものとします。

【長崎原爆資料館】 建築年:1996

基準年:2025

(単位:千円)

保全部位	更新周期 (年)	最終改修 年度	最終改修から の経過年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替	65	—	29										
屋根	20	2021	4		9,197					○			
外壁	20	—	29							○			
受変電	30	—	29										
非常電源	30	2017	8										
自動火災 報知装置	20	—	29							△			
中央監視 制御装置	15	2015	10										
昇降機	25	—	29								○5号機	○2号機	○3号機
排煙ファン	25	—	29							△			
空調	15	2019											
給排水	15、30	—											
消火	20、30	—											
機構1	20	—	29							△			
機構2	15	—	29							△			
照明1	20	2015	10										
照明2	15	—	29								○		
音響1	15	—	29							△			
音響2	10	—	29							△			

【永井隆記念館】 建築年:2000

(単位:千円)

保全部位	更新周期 (年)	最終改修 年度	最終改修からの経過年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替	65	—	25										
屋根	20	2025	0						26,700				
外壁	20	2025	0										
空調	15	—											
給排水	15、30	—											

【如己堂】

歴史的価値がある建物であることから、外観等に配慮しながら、適切に維持・補修を行っていくこととします。

【長崎原爆遺跡旧城山国民学校校舎】

国指定史跡保護の観点から、保存整備委員会の審議結果を基に、適切に維持・補修を行っていくこととします。

【原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂】 建築年：1994

(単位：千円)

保全部位	更新周期 (年)	最終改修 年度	最終改修から の経過年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替	65	—	31										
屋根	20	—	31							△			
外壁	20	—	31							△			

【平和会館(平和会館ホール)】 建築年：1981

(単位：千円)

保全部位	更新周期 (年)	最終改修 年度	最終改修から の経過年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替	65	—	44										
屋根	20	—	44							△			
外壁	20	—	44							△			
受変電	30	2015	10										
非常電源	30	2016	9										
自動火災 報知装置	20	2017	8										○
中央監視 制御装置	15	2017	8										
昇降機	25	2016	9										
空調	15	—											
給排水	15、30	2019											
消火	20、30	—											
機構1	20	—	44							△			
機構2	15	—	44							△			
照明1	20	—	44							△			
照明2	15	—	44							△			
音響1	15	2010	15							△			
音響2	10	2010	15							△			

対策費用については、同一建物内の「博物館等\_歴史民俗資料館及び野口彌太郎記念美術館」を含め、一括して計上しています。

※建物及び建物躯体に係る部分は土木総務課所管となる。



長崎市個別施設計画  
(平和施設)

令和3年10月  
令和8年2月改訂  
長崎市

【問い合わせ先】

長崎市財務部資産経営課

電話:095-829-1127

FAX:095-829-1248

Email:shisankeiei@city.nagasaki.lg.jp